



ふれあい スポーツ

発行

滋賀県障害者スポーツ協会
〒520-0037 大津市御陵町4-1
滋賀県立スポーツ会館内

☎ 077-522-6000

FAX077-521-8118

Eメールアドレス shigassk@mx.biwa.ne.jp

ホームページアドレス http://www.biwa.ne.jp/~shigassk

第4回全国障害者スポーツ大会

平成16年11月13日～15日
埼玉県熊谷市、さいたま市他



開会式での滋賀県選手団の入場行進 (11月13日)

11月13日から15日までの3日間、にわたり、「ともに感動!」にも笑顔」のスローガンのもと、第4回全国障害者スポーツ大会(彩の国まごころ大会)が埼玉県の熊谷スポーツ文化公園を中心に開催されました。昨年は同じ11月ながら非常に暖かく、穏やかな天候のもと大会が開催されましたが、今大会

は初日こそ晴れたものの、冷え込みが強く、さらに大会2日目からは雨も加わり、全般的に天気には恵まれませんでした。しかし、全国から集まった約三二〇〇人の選手の熱気は寒さも雨も吹き飛ばし、国内最大の障害者スポーツ大会は今年も大いに盛り上がりました。

平成13年に全国身障者スポーツ大会とゆうあいピックが統合されて、4回目となる全国大会ですが、回数を重ねる度に競技性が高くなっており、特に知的障害者の部門では、ゆうあいびつく時代の優勝記録でも、3位入賞すら難しいことも多く、身障部門を含め、どの競技でも確実に強化を行わないと全国大会で通用しないことを実感する結果となりました。

また運営側も色々と新しい試みがあり、陸上競技で聴覚障害者のスタートの前に確認のための出発合図テストがあるなど、競技大会としての細かい配慮が感じられる反面、厳正にルールを適用した結果、失格になる選手も多くありましたが、競技大会として好ましく感じました。

このような流れの中、選手を「競技者」に育てるよう努力してきた滋賀県にとっては、厳しさも逆に追い風となり、例年以上の活躍が目立ちました。陸上競技ではコーチ陣の熱心な指導はもちろん、ベテラン選手も経験が浅い選手を上手くまとめ、一丸となって大会に臨むことができました。結果、協選手が障害急歩で大会新記録を樹立し優勝したのをはじめ、自己記録を上回る素晴らしい成績が続きました。そして、陸上競技の最後を飾る男子四〇〇mリ

レーにおいても昨年引き続き見事1位となり、大きな感動を与えました。また、水泳においてもエース瀧山選手が期待どおり2種目とも大会新記録で優勝したのをはじめ、初出場の清水選手も大会新記録を樹立するなど、全員が3位までに入賞し滋賀県の強さを物語りました。更に卓球競技においては、強豪榊めく聴覚部門において、川中選手が激戦を征し見事1位となったほか、淵田選手についても、国内最強の竹田選手にこそ健闘むなしく敗れたものの2位となりました。アーチェリー、そしてフライングディスクについても活躍が目立ち、選手全員が3位までに入賞を果たし、今

大会での滋賀県選手団の好調さを物語っていました。しかし、ボウリング競技については、柏選手が練習中の負傷のため十分な練習が出来ず苦戦したことに加え、ベテランの寺田選手も今回は振るわず残念ながら入賞することができませんでした。以上の結果、滋賀県選手団としては、金17、銀9、銅10の合計36個のメダルを獲得することができ、昨年の34個を上回る素晴らしい成績を残すことが出来ました。

なお、来年の第5回全国障害者スポーツ大会(輝いて!おかやま大会)は「あなたがキラリ☆」という団体との共通スローガンのもと、平成17年11月5日から7日までの3日間、岡山市総合グラウンド(岡山市)を中心に開催されます。

アテネパラリンピック グローバル大会(スウェーデン)の結果

▼INAS-FID
2004グローバル大会

平成16年7月25日(金)

8月3日(火)

スウェーデン・ブルネス

○卓球競技

(シングルス)

10位 義永崇真(竜王町)

予選敗退 淵田 彰(信楽町)

(ダブルス)

3位 義永・竹田組

8位 淵田・Cesar組

(団体戦)

準優勝

竹田・樋口・塩崎・義永組

▼2004アテネ

パラリンピック競技大会

平成16年9月17日(金)

9月28日(水)

ギリシャ・アテネ

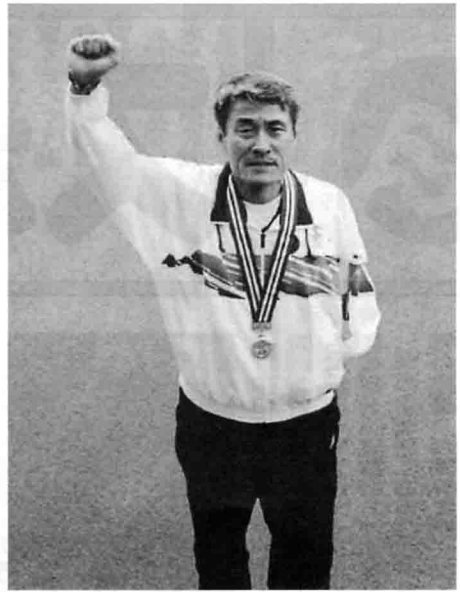
○シッティングバレーボール競技

7位 日本代表チーム

※キャプテンは田中浩二選手

(奈良町)

第4回全国障害者スポーツ大会選手代表参加感想文



表彰後、ガッツポーズの梅田選手

笑顔と涙

梅田 道広

平成16年11月13日、赤城おろしの吹く中、皇太子殿下ご臨席のもと第4回全国障害者スポーツ大会が埼玉県において開催された。

開幕一日目、私は競技が無いので、練習と応援だ。午後練習の前、山口葉子選手の応援の為競技場に向かった。女子八〇〇メートル競走である。本県から山口葉子選手と森野裕香里選手が出場する。14時47分、山口選手がスタート、少し遅れたがラスト100メートル、私は思わず「山口ラスト、腕を大きく振ってラスト」と叫んでいた。レース終了後、「声、届いたかなあ?」と聞いてみた。とその瞬間、満面に笑みを浮かべ「聞

こえました」との返事、山口選手のこんな素敵な笑顔を見るのは初めてである。

15時30分、午後練習開始16時50分頃、練習終了、急いで競技場に向かう。17時、森野裕香里選手が、池田先生の伴走でスタートした。調子良く走りラスト一〇〇メートル、「森野ラスト・ラスト」と声を掛ける。レース後、山口選手と同じように尋ねてみた。「良く聞こえたよ、ありがとう」と言ったとたん大粒の涙が流れた。思わず私ももらい泣き、彩の国まごころ大会とともに感動・ともに笑顔とサブタイトルが付いていたが、滋賀の二選手からこんな素敵な笑顔と素晴らしい感動をいただいた。山口葉子選手・森野裕香里選手ありがとう。滋賀県選手団の役員・コーチ・選手の皆さんありがとうございました。

全国大会

信楽通勤寮

山口 葉子

走りのおせい私が、全国大会にえらばれるとは、思ってもいませんでした。

はじめの日から、遅刻をして恥ずかしかったです。

そして、練習がはじまりいろんなトレーニングができてよかったです。

だけど、みんなができるスキップができなくて、恥ずかしかったです。

でも、おしえてもらいながら練習をして少しだけでも、できるようになってよかったです。

土曜日、日曜日に場所をかえながらも練習をしてきました。

だけど、なかなか行くことができないので、練習にさんかができる日もありました。

雨の日が多くて大変だったけど、頑張ってトレーニングをしました。

スパイクをはくのははじめてでスパイクで走るのをはじめでました。だから、走るときうまく走れなくて、私だけがつまづいてばかりいました。

だから、練習をしていて、このままでいいのか、ふあんになった日もありました。だけど、できるだけスパイクになれたかったので、頑張りました。

そして、大会の日がやってきました。はじめて行く埼玉県、はじめての全国大会にこられてよかったです。

でも、自分の種目ははじまる前と終わるまでが、とてもきちょうをしていました。

メダルは、とれなかったけど、スタートから、ゴールまで、走りきることができてよかったです。



山口選手の800m競走の一コマ

私ができる前や走っているときにみんなにおうえんしてもらったことがはじめてで、とてもうれしかったです。

男の人とは、仲よくなれなかったけど、女の人と仲よくできてよかったし、楽しかったです。それに私たちのサポーターをしていただいた人とも仲よくできてよかったです。

主な国内大会の結果

- ▼第8回全日本障害者フライングデイスク競技大会
 - 平成16年8月8日(日)
 - 駒沢オリンピック公園陸上競技場
 - デイスタンス競技
 - メンズ・スタンディング
 - 8位 井上 博基 55 m 47
 - レイイス・スタンディング
 - 13位 岡垣 絵美 34 m 14
 - アキュラシー ※順位は組別
 - デイスリート7 (個人)
 - 8位 青木 和彦 7枚
 - デイスリート5 (団体)
 - 1位 井上 博基・西川眞治 15枚
 - 3位 藤井 護・田淵千恵子 7枚
 - ▼2004年ジャパンバラリンピック水泳競技大会
 - 平成16年8月15日(日)
 - なみはやドーム (大阪府)
 - 女子五〇m自由形 (S14)
 - 1位 瀧山三智子 32秒21
 - 女子一〇〇m自由形 (S14)
 - 1位 瀧山三智子
 - ▼第14回近畿車椅子ツインバスケットボールびわこ大会
 - 平成16年8月29日(日)
 - 県立障害者福祉センター
 - 優勝 兵庫キヤロッツ
 - ※INFINI滋賀は一回戦敗退
 - ▼第4回大阪障害者フライングデイスク競技大会
 - 平成16年9月20日(祝)
 - 大阪府立障害者交流センター
 - デイスタンス競技
 - ※順位は組別
 - 1位 井上 博基 61 m 32
 - 2位 鈴木 昭夫 36 m 68
 - 2位 北村 茂 36 m 67
 - 2位 堀江美津子 21 m 61
 - アキュラシー ※順位は組別
 - 1位 鈴木 昭夫 9枚
 - ▼第10回四万十川ウルトラマラソン
 - 平成16年10月17日(日)
 - 高知県中村市他
 - 一〇〇km 一般男子の部
 - 三四位 (完走者九二八人)
 - 川原崎景一 12時間02分01秒
 - ▼ねりんピックぐんま大会
 - 平成16年10月17日(日)~18日(土)
 - 前橋市大渡温水プール
 - 女子五〇m平泳ぎ(70~74歳)
 - 1位 堀井 久子 1分05秒34
 - 女子二五m平泳ぎ(70~74歳)
 - 3位 堀井 久子 27秒60
 - ▼全日本知的障害者サッカー選手権第5回西日本大会
 - 平成16年11月28日(日)
 - 県立希望が丘文化公園
 - 3位 FC・信楽

第4回全国障害者スポーツ大会 滋賀県代表選手 成績表

平16年11月13日から15日 ①:11/13 ②:11/14 ③:11/15 成績・結果

選手名	性別	年齢区	種目	記録	順位	自己最高	大会記録	備考
2501 梅田道廣	男	2部	② 100m競走	14"61	3	14"6	13"28	
			② 走幅跳	3m89	2	3m90	5m04	
2502 脇巖雄	男	2部	① 砲丸投	8m67	2	8m77	10m16	
			② 障害急歩	25"00	1	26"22	28"6	大会新・自己新
2503 森野裕香里	女	1部	① 800m競走	3'06"38	1	3'12"2	2'57"69	自己新
			② 60m競走	10"08	2	9"89	9"70	
2504 富士紗代子	女	1部	② 100m競走	15"31	1	15"3	14"57	
			① 走幅跳	3m39	1	3m40	3m93	
2505 中村弥城	男	少年	① 800m競走	失格		3'15"57	2'02"15	
			② 100m競走	12"87	1	13"4	11"30	自己新
2506 北川一紀	男	少年	① 800m競走	2'13"84	2	2'26"4	2'02"15	自己新
			③ 1500m競走	4'47"46	2	4'48"6	4'12"83	自己新
2507 山川博司	男	少年	① 50m競走	7"24	3	7"3	6"40	自己新
			② 100m競走	13"67	5	13"11	11"30	
2508 岡本容昌	男	少年	① 走幅跳	4m49	6	4m10	6m01	自己新
			② 400m競走	67"04	6	1'14"0	52"27	自己新
2509 戎井雅和	男	少年	① 50m競走	6"83	2	7"00	6"40	自己新
			① 800m競走	2'16"30	3	2'31"7	2'02"15	自己新
2510 藤崎直人	男	青年	① 800m競走	2'20"38	1	2'29"9	2'09"06	自己新
			② 400m競走	60"43	3	1'04"35	54"77	自己新
2511 井高達樹	男	青年	① 50m競走	7"02	3	7"7	6"54	自己新
			② 100m競走	13"33	3	14"5	11"76	自己新
2512 山口葉子	女	少年	① 800m競走	3'48"40	6		2'37"51	
			② 400m競走	1'36"26	6	1'40"3	69"63	自己新
2513 堀井久子	女	2部	① 50m平泳ぎ	1'05"59	1	1'03"70	1'01"68	
			② 25m背泳ぎ	29"73	1	29"71	29"18	
2514 瀧山三智子	女	少年	① 50mバタフライ	36"41	1	41"92	43"14	大会新・自己新
			③ 100m自由形	1'10"62	1	1'15"17	1'17"36	大会新・自己新
2515 小菅仁	男	青年	② 25m自由形	14"72	2	16"02	13"53	自己新
			② 25mバタフライ	16"35	3	17"31	14"57	自己新
2516 清水均	男	2部	① 50m背泳ぎ	42"88	1	47"69	未	自己新
			② 25m背泳ぎ	20"59	1	21"97	28"16	大会新・自己新
2517 藤川進	男	2部	② 50m・30mラウンド	582点	3	609点	640点	
2518 淵田彰	男	青年	卓球	2勝1敗	2	—	—	
2519 川中德行	男	1部	卓球	2勝0敗	1	—	—	
2520 寺田浩人	男	壮年	① ボウリング	4ゲーム合計 563	4	2ゲーム合計 266点	4ゲーム合計 806点	
2521 柏忠光	男	壮年	① ボウリング	4ゲーム合計 474	4	2ゲーム合計 325点	4ゲーム合計 806点	
2522 竹田司	男		① フライングディスク(アキュラシー・5)	8枚	1	4枚	10枚	自己新
			② フライングディスク(ディスタンス)立位	43m75	1	39m31	62m04	自己新
2523 佐藤充希	男		① フライングディスク(アキュラシー・7)	4枚	3	3枚	10枚	自己新
			② フライングディスク(ディスタンス)立位	44m79	1	36m78	62m04	自己新
2524 若林重市	男		① フライングディスク(アキュラシー・5)	8枚	3	4枚	10枚	自己新
			② フライングディスク(ディスタンス)座位	21m78	2	16m48	34m47	自己新
山川・井高・中村・戎井			③ 男子4×100mリレー	49"86	1	—	46"66	

	第1日目	第2日目	第3日目	合計	H15年度実績
金	6	9	2	17	15
銀	3	5	1	9	14
銅	5	5	0	10	5
合計	14	19	3	36	34

	第1日目	第2日目	第3日目	合計	H15年度実績
大会新記録	1	2	1	4	0
自己新記録	13	12	2	27	24
合計	14	14	3	31	24



トーチランに参加したビームライフルクラブの皆さん

皆様も2月のスペシャルオリンピックには是非熱い声援を送ってください。

これに先立ち、当協会でも大会のTシャツ販売に協力するなど、蔭ながら支援してまいりましたが、当日も当協会所属の滋賀ビームライフルクラブが組織的に参加するなど、各会場で当協会関係者が心地よい汗をかきました。

この「第8回スペシャルオリンピック冬季世界大会」を県民にアピールするために、11月21日(日)、県下7ブロックで一斉にこの大会の炬火をリレーする「トーチラン滋賀」が実施されました。

来る2月にアジアで初めてのスペシャルオリンピックが長野市を中心に開催されます。スペシャルオリンピックは米国のケネディ財団が中心となって始められた知的障害者の世界大会で、競技性を重視するパラリンピックやFIDの世界選手権大会とは異なる考えで行なわれているものです。

スペシャルオリンピック トーチラン滋賀

第42回県大会



9年振りに屋内開催となったアーチェリー大会の一コマ(8月29日)

アーチェリー競技

8月29日(日)、秦荘勤労者体育センターにおいて、県アーチェリー協会・滋賀ヒットアーチェリークラブ等のご協力のもと第42回滋賀県障害者スポーツ大会(アーチェリー競技)を開催致しました。

今年ほどにかく台風の当たり年で、この大会も台風の影響による雨の確率が高かったため、屋内開催といたしました。

しかし、屋内で開催したことは、これまでに昭和62年・平成7年の2回だけしかなく、前回とは9年の年月が流れているため、会場設定に若干手間取りました。

しかも40センチ的の18mインドア・ラウンド競技を開催する

水泳競技

9月12日(日)、県立彦根総合運動場スイミングセンターにて、第42回滋賀県障害者スポーツ大会(水泳競技)を開催しました。昨年から大会までの練習機会を考へて夏休み後に開催して欲しいとの声を受け9月開催となった水泳大会ですが、2回目の今年度も時期の移動に伴う、参加者の動向が注目されました。結果、今年度も昨年並みの55名の参加申込となり、今回も参加者の増減の影響はありませんでした。

しかし、参加状況を見ると半数以上が知的障害者となり、県

大会に知的障害者が加わってからはじめて、身障者数を上回る大会となり、新しい時代を感じました。

水泳大会は参加者こそ少ないものの、例年競技レベルが非常に高く、今大会も好記録が続出し、県大会新記録が17、さらに全国大会を上回る記録も6あり、昨年に続く記録ラッシュとなりました。これは開催時期を秋季にもって来た効果があるのではと考えられます。

そして、今回も大会のフィナーレには恒例となったエキジビジョン競技のリレーが行なわれ泳ぐ者も、声援を送る者も大きな感動の中、今大会も無事幕を下ろしました。

卓球競技

10月17日(日)、草津市総合体育館にて、第42回滋賀県障害者スポーツ大会(卓球競技)を開催致しました。

当日は天気にも恵まれ、外はこの時期にしては若干暑かったものの、アリーナ内は湿度・温度とも良い具合で、激しいプレイをする選手こそ大汗をかきながらの競技となりましたが、その他の役員や選手にとっては概ね快適であり、スポーツの秋に相応しい一日を満喫しておられました。

一昨年、競技性の高い大会とするため、従来どおり障害・年齢区分別に行なう「卓球1」と、これらの区分を撤廃し、実力ナ

ンバー1の選手を決定する「卓球2」に分けて開催することにしました。

3回目の試みとなる今回も参加者の動向が注目されましたが、サウンドテーブルテニスを含む「卓球1」が二六名、競技性重視の「卓球2」が二八名の合計一五四名の参加者がありました。全体の参加者が昨年より減っている中、「卓球2」の参加者は昨年より微減に留まったことから、相対的に「卓球2」の比率が上がり、競技性を高めるという目的にそった結果となりました。

競技は思惑どおり競技性を高める目的で設置された「卓球2」が牽引役となって盛り上がりを見せ、大会に引き締まった印象を与えることとなりました。特に決勝が近づくにつれ、試合は激しくなり、見るものに感動を与えました。

また、今回も昼休みに模範試合が行われ、今年度の全国大会出場選手がその技を披露し、大

会を飾りました。

結果、「卓球2」男子は昨年につづき大石康雄選手(大津)が連覇を果たし、女子は渡辺裕子選手(甲賀)が激戦を制し初優勝を果たしました。

また、地区対抗部門では昨年準優勝の甲賀地区が4年ぶりに優勝を果たし、昨年優勝の大津地区は準優勝となりました。続く3位には湖南地区が入り、甲賀・大津・湖南の3強時代が今年も続きました。

《各地区の成績》

優勝	甲賀地区	六九点
準優勝	大津地区	四四点
第3位	湖南地区	四一点
第4位	彦根地区	三一点
第5位	草津地区	二〇点
第6位	八日市地区	一八点
第7位	東近江地区	一二点
第9位	湖北地区	一二点
第9位	長浜地区	一一点
第10位	湖西地区	八一点
第11位	守山地区	七一点
第12位	湖東地区	五一点
第13位	近江八幡地区	一一点



盛り上がった卓球競技での一コマ(10月17日)

協会単独主催大会

グラウンド・ゴルフ

10月3日(日)、県立長浜ドームにて、当協会主催第19回グラウンド・ゴルフ大会を開催致しました。

昨年度から協会正会員のみが参加できる大会となり、参加者の減少も予想されたのですが、そのような結果にはならず、今回も昨年を上回る一三〇チームの参加がありました。

また、欠席によるオープン参加を減らす目的で2名以内の補充登録を認めたところ、今回もオープン参加は全体の1割以下に留まり、さらに参加者にも非常に好評であったことから、運営側にも参加側にも都合の良い結果となりました。

運営トラブルが近年確実に少なくなっていることから、今回は運営上の変更は行わず、かわりに運営者に負担となっていた前日の夜間準備を迅速化することを目指しました。その結果、



写真はグラウンド・ゴルフ大会 (10月3日)

ポイントの取り方等を工夫し競技コートの設営については目標としていた「1時間以内」を達成することが出来、来年以降は当日だけで対応できる目処がたちました。

また、当日は参加者のマナーの向上も目立ち、極めて円滑に運営を行うことが出来ました。

競技においても高レベルのプレイが繰り広げられ、昨年を上回る24名の方が27個のホールインワン賞を出すなど、非常に盛り上がりました。

結果、能登川町Cチームが48打という昨年を上回る驚異的なスコアを叩き出し連覇を果たし、その強さを見せ付けました。また準優勝には上位常連の長浜市チーム、第3位には昨年準優勝の安曇川町チームが続きました。

協会ではグラウンド・ゴルフ競技の黎明期から競技普及の意をこめて19回に渡りこの大会を開催し好評を頂きました。し

かし、より競技性の高い大会を望む声や市町村合併に伴う参加チーム枠の問題もあり、現行の大会については今回で終了する予定です。

来年からは全く新しい大会として、参加枠をしぼった上で、2ラウンド16ホールで競う、競技性の高い新グラウンド・ゴルフ大会(名称未定)を開催する予定です。大会に出場を目指すかたは、今から各地で腕を磨いておいて下さい。

なお、大会の結果は次のとおりです。
※この大会では全て合併前の市町村名を使用しております。

▼団体成績

- 優勝 能登川町C
- 準優勝 長浜市D
- 第3位 安曇川町A
- 第4位 大津市A
- 信楽町A
- 近江町A

※7位以下の団体成績については各市町村に通知しておりますので、ご確認下さい。

▼ホールインワン賞

- 大津市 小池雪子 / 彦根市 廣松哲夫 / 長浜市 清水敏子 / 清水紀子 / 八日市市 中江幸子 / 草津市 水谷勝 / 守山市 西出薫 / 栗東市 里内敏明 / 中井のぶ / 高田次男 / 志賀町 柴崎信雄 / 水口町 山川俊信 / 甲賀町 寺沢しげ子 / 永源寺町 野田金一 / 大島善内 / 能登川町 北尾健一 / 愛東町 丸山喜三郎 / 愛知川町 飯島キヌ / 多賀町 深田よしみ / 近江町 成宮久實

／虎姫町 富永政太郎 / 湖北町 佐野充夫 / 清水幸男 / 新旭町 足立勲

ビームライフル競技

11月28日(日)、県立障害者福祉センターにおいて、県ライフル射撃協会の協力のもと当協会主催第7回ビームライフル競技大会を開催致しました。

今回も91名の参加申込があり、昨年より若干減ったものの、県大会アーチェリーの倍近い数となりました。

競技には目視の一般射撃とアイマスク・音響誘導装置使用の2種目となっており、回数を重ねるごとにそれぞれの競技レベルが確実にあがっております。

特に一般射撃の部では優勝を狙うためにはもはや一九〇点代が必要で、1発のミスが勝敗を分けるシビアな戦いが繰り広げられました。

一方、音響誘導装置の部では、機械的な要素もあり、以前は「なんとなく的に当たるレベル」に銃を調整することすら極めて困難でした。しかも準備に長い時間がかかることから、競技開始時間が遅らせて対応しており、いろいろな点で運営上ネックとなっておりました。

ようになつてきて、競技内容が高まってきました。

結果、一般射撃の部では普段練習を行なっておられるBRC(ビームライフルクラブ) 滋賀の部員が予想どおり上位に名を連ねたものの、優勝についてはクラブ外の津田貞子選手(守山市)が一九四点の素晴らしい成績で初の栄冠に輝きました。

また、音響誘導装置の部では昨年準優勝の竹村忠夫選手(栗東市)が見事優勝の栄冠をつかみました。

なお、大会の結果は次の通りです。

16年度賛助会員名簿

- ▼ 団体会員
 - 東レ(株)滋賀事業場
 - カネボウ繊維(株)長浜工場
 - パナホーム(株)本社工場
 - (株)ノエビア滋賀事業所
 - 第一工業製薬(株)滋賀工場
 - いすゞ自動車近畿(株)
 - (株)インシダ滋賀事業所
 - (福)滋賀県母子福祉のぞみ会
 - トラヤ商事(株)
 - (株)湖光
 - (株)みんなで作る新聞社
 - 新江州(株)
 - 日本ソフト開発(株)
 - 滋賀建機(株)
 - 滋賀トヨペット(株)
 - 桜宮化学(株)
 - (有)たねや
 - イサム塗料(株)滋賀工場
 - 凸版印刷(株)エレクトロニクス事業本部

▼ 一般射撃(目視)の部
優勝 津田 貞子(守山市) 一九四点
準優勝 児玉哲和(八日市市) 一九〇点
第3位 中村なほみ(大津市) 一八九点

▼ 音響誘導装置使用の部
優勝 竹村 忠夫(栗東市) 八六点
準優勝 山本 藤夫(栗東市) 五一点
第3位 坂下 節子(栗東市) 二七点

※これ以外の成績については、各市町村に通知しております。

- ▼ 大日本塗料(株)滋賀製造所
- 滋賀リコー(株)
- 滋賀ホンダ販売(株)
- (株)長府製作所滋賀工場
- (社)滋賀県モーターボート競技会
- ▼ 大同塗料(株)滋賀工場
- 高橋金属(株)
- (株)服部モーターズ
- (株)近新
- ▼ (株)ネオス滋賀事業所
- ▼ 日本黒鉛工業(株)
- (株)ストロング商会
- ▼ フジテック(株)滋賀製作所
- ▼ 近江化成工業(株)
- ▼ 日本通運(株)大津支店
- (株)ブリヂストン彦根工場
- 個人会員
 - ▼ 大澤 擴(大津市)
 - ※太字は新規賛助会員
 - ※8月11日～12月13日登録分
 - 順不同・敬称略

◆新規賛助会員について◆

本協会活動にご理解を賜り、新しく賛助会員にご登録頂いた会員は次の25団体です。

- 〔8/11/12/13登録分敬称略〕
- 〔団体会員〕
- 株みんなで作る新聞社
- 大津市におの浜四一七五
- 新江州株
- 東浅井郡びわ町川道七五九一三
- 日本ソフト開発株
- 坂田郡米原町米原西二三
- 滋賀建機株
- 愛知郡秦荘町北八木九二
- 滋賀トヨベツト株
- 大津市富士見台一一
- 桜宮化学株
- 守山市古高町八〇八一一九
- 有たねや
- 近江八幡市上田町八四
- イサム塗料株滋賀工場
- 草津市笠山八一二一一
- 凸版印刷株エレクトロニクス事業本部
- 八日市市妙法寺町一一〇一一
- 二〇
- 大日本塗料株滋賀製造所
- 湖南市石部口三三一一
- 滋賀リコー株
- 栗東市安養寺七一一二二二
- 滋賀ホンダ販売株
- 大津市蓮池長一五一一二
- 株長府製作所滋賀工場
- 野洲市野洲一四七三一一
- 株滋賀県モーターボート競走会
- 大津市茶が崎一一二
- 大同塗料株滋賀工場
- 守山市三宅町五六一
- 高橋金属株
- 東浅井郡びわ町細江三〇
- 株服部モーター
- 大津市富士見台一一〇
- 株近新
- 近江八幡市東横関町西押見三
- 八三
- 株ネオス滋賀事業所
- 湖南市大池町一一一
- 日本黒鉛工業株
- 大津市唐橋町九一一二
- 株ストロング商会
- 甲賀市水口町京町二一一
- フジテック株滋賀製作所
- 彦根市宮田町五九一一
- 近江化成工業株
- 神崎郡五個荘町宮荘五一一
- 日本通運株大津支店
- 大津市中庄二一一七三
- 株プリヂストーン彦根工場
- 彦根市高宮二一一

8月から12月の その他事業結果

〔一般会計関係〕

- 1 役員会等
- (1)副会長会
- 第2回
- 平成16年9月8日(水)
- 県立スポーツ会館会議室
- 第3回
- 平成16年12月7日(火)
- 県立スポーツ会館会議室
- 第4回
- 平成16年9月8日(水)
- 県立スポーツ会館会議室

民間福祉振興(財)様から 助成金を頂きました

財団法人滋賀県民間福祉振興財団様より、平成16年度の助成金として四〇万円を頂きました。同財団では、県内のパチンコ業界の協力を得て、毎年民間の福祉活動に多額の助成を行っておられます。協会では財団のご厚意を生かせるよう、有意義に活用させて頂きたいと考えております。ありがとうございます。

お知らせ!

協会ボウリング大会についてはこれまで、内部障害者の出場

平成16年10月9日(土)
県立彦根総合運動場陸上競技場他

平成16年10月31日(日)
大津市皇子山総合運動公園陸上競技場他

平成16年10月31日(日)
大津市皇子山総合運動公園陸上競技場会議室

平成16年8月発行
発行部数二六〇〇部

平成16年12月発行
発行部数二六〇〇部

平成16年8月17日(火)
平成16年8月17日(火)

平成16年9月17日(金)
平成16年9月17日(金)

平成16年9月24日(金)
平成16年9月24日(金)

平成16年9月19日(日)
平成16年9月19日(日)

平成16年9月24日(金)
平成16年9月24日(金)

平成16年9月19日(日)
平成16年9月19日(日)

をお断りしておりましたが、2月27日開催の第7回ボウリング大会からご参加頂けるようになりました。さらに、会員の大会という目的から、会員相互の交流を深めるといふ意味を考へて、同じ会員でありながらこれまで参加の機会が全くなかった、障害をお持ちで無い指導員・協力員についても参加して頂けるようになりました。

参加申込期限は1月17日(月)までとなっておりますが、先着順となりますので、希望される場合は早めにお申し込み下さい。

▼事務局だより

古切手等回収協力者
大津市 鈴木 昭夫
岡本千代子
堀江美津子
浅井 初美
中江 幸子
青木 和彦
吉田 素子
久保川一夫
山下 巧

滋賀県障害者フライングデイ
スクラップ
滋賀ビームライフルクラブ
トラヤ商事株

志賀町立和邇公民館
※以上集まった古切手等は県のボランティアセンターに送らせて頂きました。ご協力ありがとうございました。

※各地区スポーツ大会については12月13日現在で申請があった大会のみを掲載しています。

編集後記

〇月日の流れはまさに脱兎の如し、年の瀬の日々を皆様も如何お過ごしでしょうか。

〇お蔭様で主な協会事業はほぼ終わり、残すところは2月に開催の協会ボウリング大会のみとなりました。

この1年の皆様のご協力・ご理解に対して深くお礼申し上げます。

〇埼玉県で開催された全国大会において、滋賀県選手団は昨年を上回る優秀な成績を挙げることができました。

このことは、選手の自主努力は勿論、その努力を絶えず支えて下さる方々があり、障害者スポーツのための日常環境が年々整ってきている成果だと感じました。

養護学校・施設・地域など関係者の皆様に改めてお礼を申したく思います。

〇今年にはパラリンピックの年であり、シッティングバレー競技のキャプテンとしてアテネに出場した田中選手活躍は勿論、グローバル大会での義永・潤田選手の活躍など、滋賀県勢が大きく海外に羽ばたいた一年でした。

来年もこれに続く選手がぞくぞくと湖国滋賀から輩出されることを希望します。〇既に来年度に向けた下準備を行なっております。小生も我が筆が折れる最期の時まで、皆様の活躍を誌面に書き綴る所存であります。(A・Y)

